

JVCケンウッド 決算説明資料

2024年3月期 (IFRS)

株式会社JVCケンウッド

2024年4月26日



- * 本資料の数値は全てIFRS（国際財務報告基準）となっています。
- * 本資料における比率・差額については、円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入しています。

■ 2024年3月期実績

- ✓ S&S 無線システムの販売好調継続、M&T 海外OEMの堅調な推移などから、前期比で増収。本業のもうけを示す事業利益※も大幅増益となり統合後最高益。中期経営計画「VISION2025」初年度としての目標を大幅に上回る実績
- ✓ 営業利益以下の段階損益は減益も、前期3Qに計上した固定資産譲渡益（約97億円）の影響を除けば、前期比で大幅増益

■ 2025年3月期通期業績予想について

- ✓ 2025年3月期は、利益創出ドライバーと位置付けた無線システムへの戦略的投資の更なる強化および為替ヘッジによるマイナス影響（約9億円）などから事業利益は対前年で微減も、「VISION2025」での想定は上回る見込み
- ✓ 2026年3月期は「VISION2025」の最終年度目標を上回る成長を目指す

※ 売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。
2024年3月期より従来の「コア営業利益」から「事業利益」に名称変更

- 1. 2024年3月期決算概況**
- 2. 2025年3月期通期業績予想**
- 3. 「VISION2025」の進捗について**

<参考資料>

1. 2024年3月期決算概況

2. 2025年3月期通期業績予想

3. 「VISION2025」の進捗について

＜参考資料＞

2024年3月期決算 全社実績

(億円)

	'21/3期	'22/3期	'23/3期	'24/3期	前年比	
売上収益	2,736	2,821	3,369	3,595	+ 225	+6.7%
売上原価	1,990	2,063	2,417	2,507	+ 90	+3.7%
売上総利益	746	758	952	1,088	+ 136	+14.2%
利益率	27.3%	26.9%	28.3%	30.3%		
事業利益^{※1}	75	71	158	197	+ 39	+24.5%
利益率	2.7%	2.5%	4.7%	5.5%		
その他の収益・費用、為替差損益等	△ 26	19	58	△ 15	△ 73	—
営業利益	49	91	216	182	△ 34	-15.8%
利益率	1.8%	3.2%	6.4%	5.1%		
税引前利益	45	85	212	182	△ 29	-13.8%
親会社の所有者に帰属する						
当期利益	22	59	162	130	△ 32	-19.8%
EBITDA^{※2}	276	275	423	406	△ 16	-3.9%
EBITDAマージン	10.1%	9.7%	12.5%	11.3%		

※1:売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。
2024年3月期より従来の「コア営業利益」から「事業利益」に名称変更

※2:税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 減損損失で計算

		'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
損益為替レート	1米ドル	108	106	105	106	106	110	110	114	116	112	130	138	141	132	135	137	145	148	149	145
	1ユーロ	119	124	125	128	124	132	130	130	130	131	138	139	144	142	141	150	157	159	161	157

(円)

2024年3月期決算 分野別の状況

(億円)

		'21/3期 [※]	'22/3期	'23/3期	'24/3期	前年比	
M&T	売上収益	1,571	1,643	1,976	1,994	+ 19	+0.9%
	事業利益	56	22	44	39	△ 5	-11.9%
S&S	売上収益	609	581	747	938	+ 191	+25.6%
	事業利益	19	25	107	165	+ 58	+54.4%
ES	売上収益	501	534	573	560	△ 13	-2.2%
	事業利益	5	27	8	△ 3	△ 11	-
その他	売上収益	55	63	74	103	+ 29	+38.5%
	事業利益	△ 5	△ 3	△ 0	△ 4	△ 4	-
合計	売上収益	2,736	2,821	3,369	3,595	+ 225	+6.7%
	事業利益	75	71	158	197	+ 39	+24.5%

※ '21/3期のM&Tの実績には、'22/3期に編入したテレマティクスサービス事業を含む

M&T

海外OEMの販売好調により、国内用品で4Qに自動車メーカーの生産・販売減、アフターマーケット、テレマティクスサービスの販売減影響あるも分野全体で増収。為替ヘッジによるマイナス影響約32億円あり減益

S&S

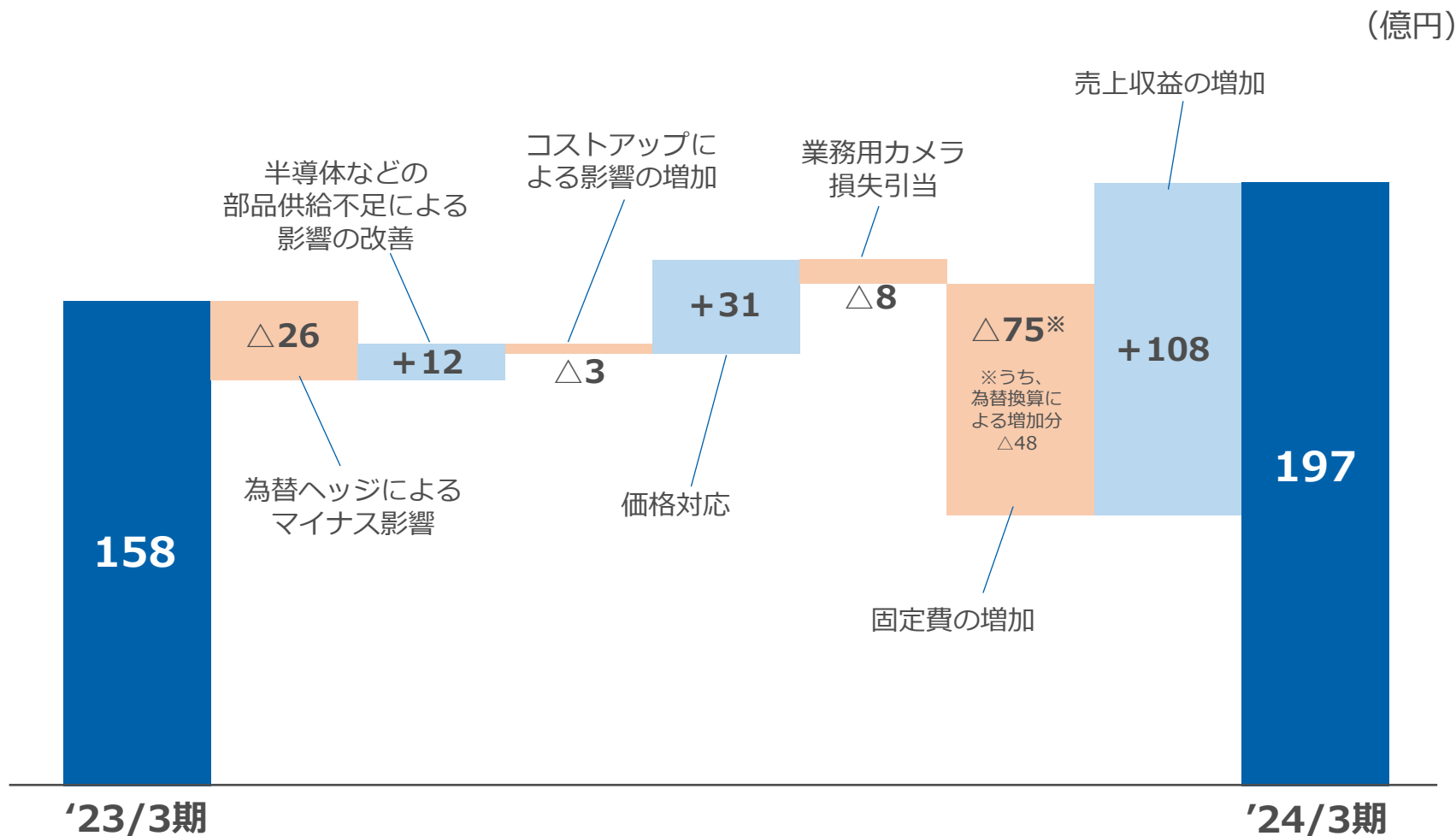
無線システムが米国を始めとする海外市場で非常に好調に推移したことに加え、業務用システムは構造改革の実施と社会インフラ市場が回復傾向となったことから、分野全体で大幅な増収増益

ES

コンテンツビジネスの販売が堅調に推移したものの、メディアにおける業務用カメラの販売減・業容縮小にともなう損失引当約8億円計上などから、分野全体で減収減益

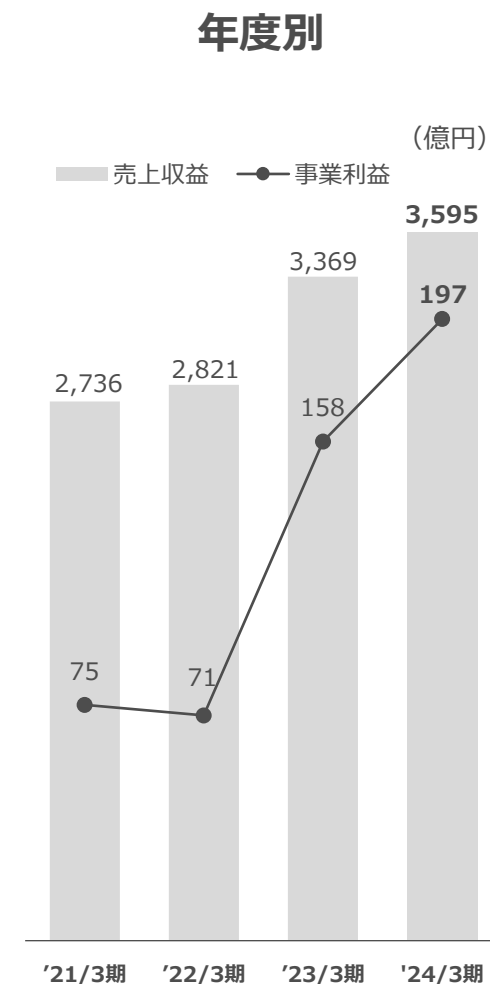
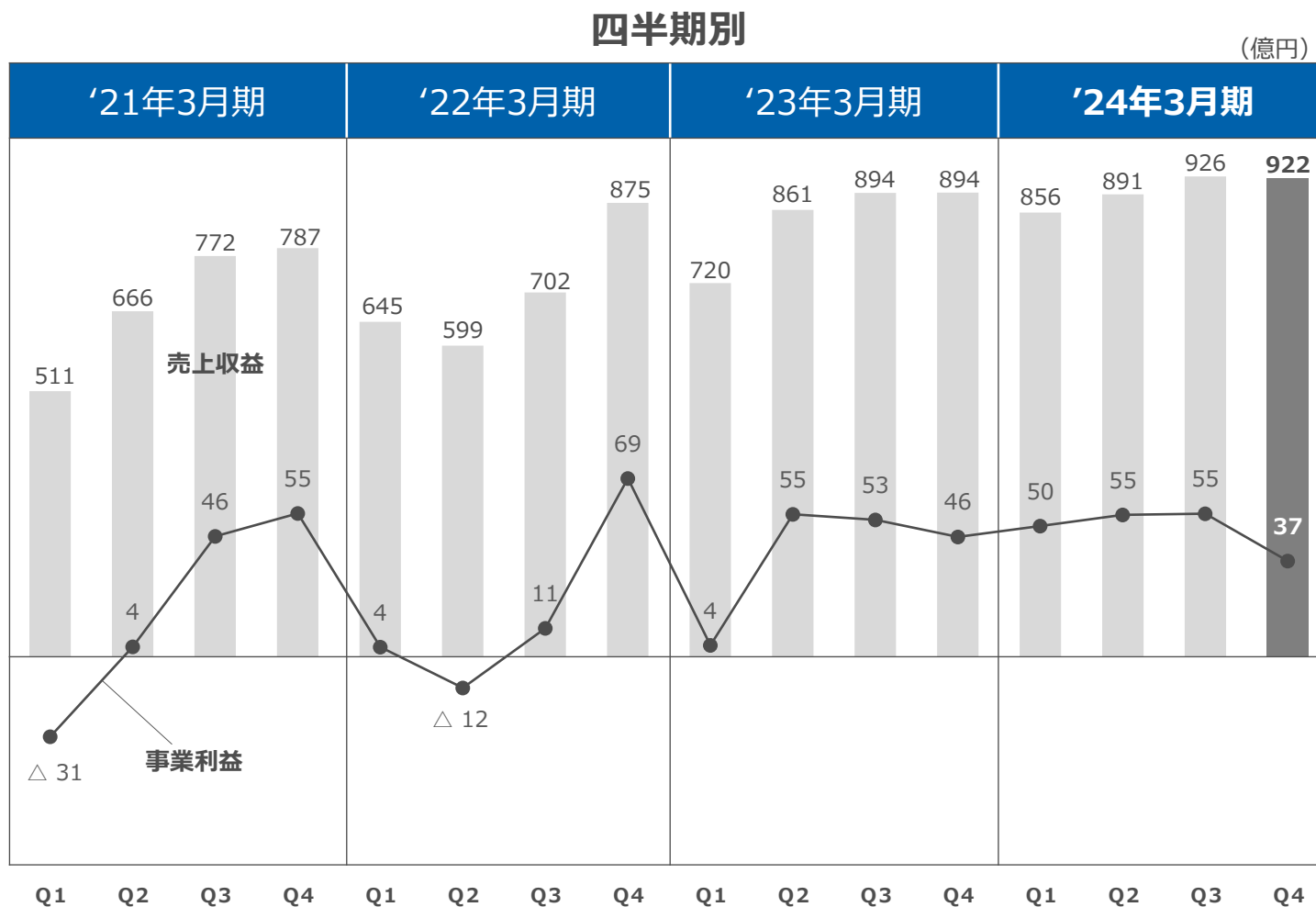
2024年3月期決算 事業利益の増減要因

- 売上収益の大幅増や価格対応、半導体などの部品不足影響の改善により、前期比で増益



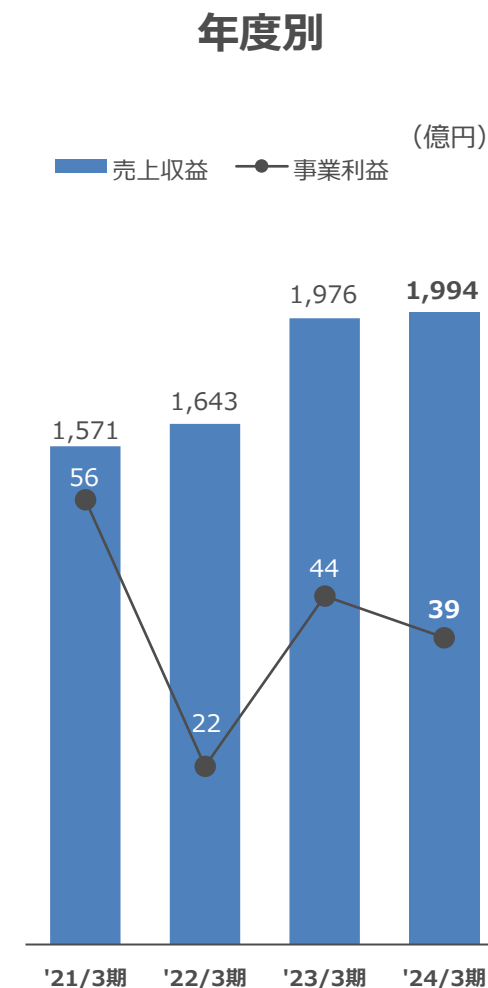
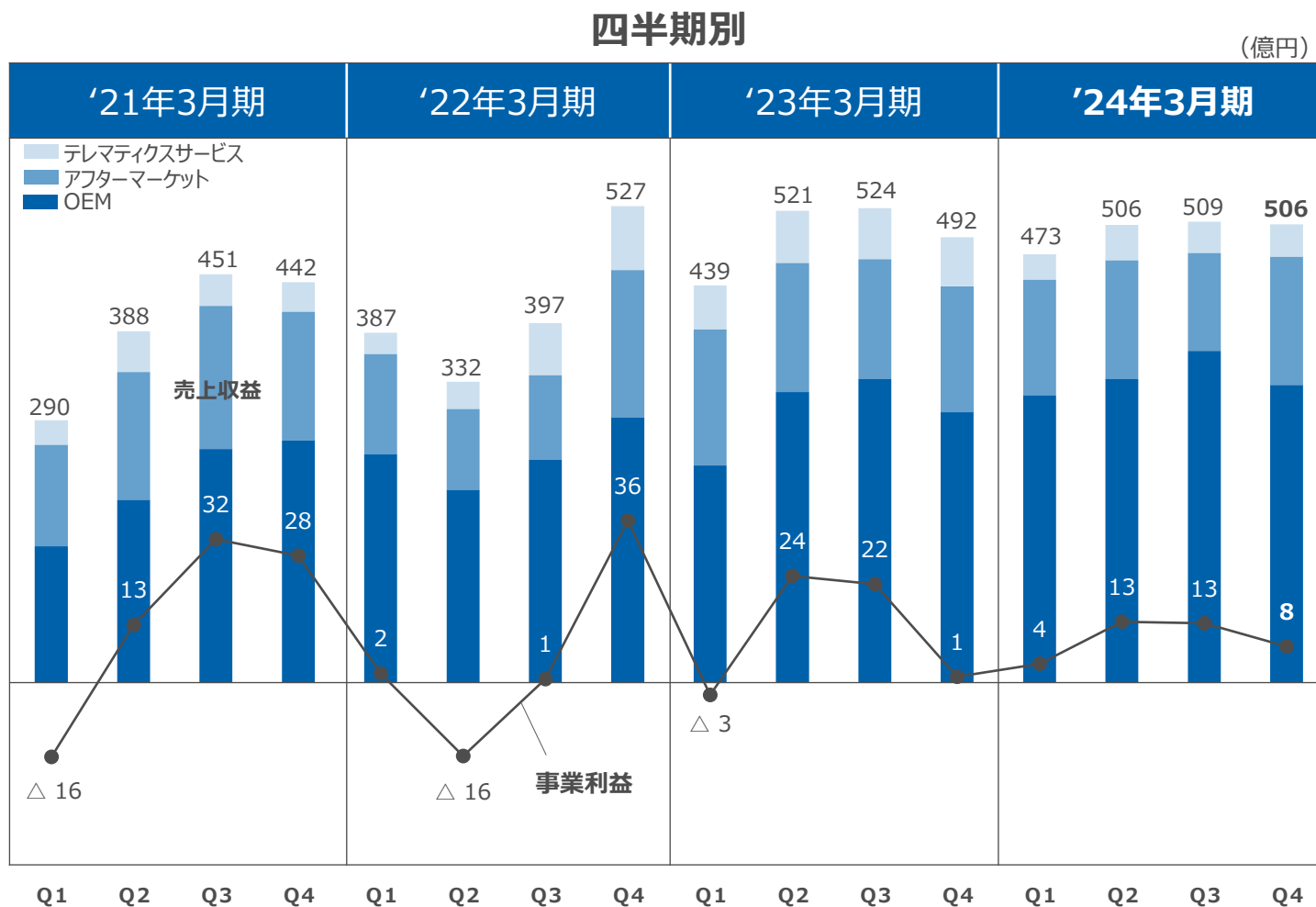
全社実績推移

- 4Q（1-3月）は、為替ヘッジによるマイナス影響約13億円、M&T OEMの国内自動車メーカー向け用品の販売減影響などから、全社では前期比で増収減益



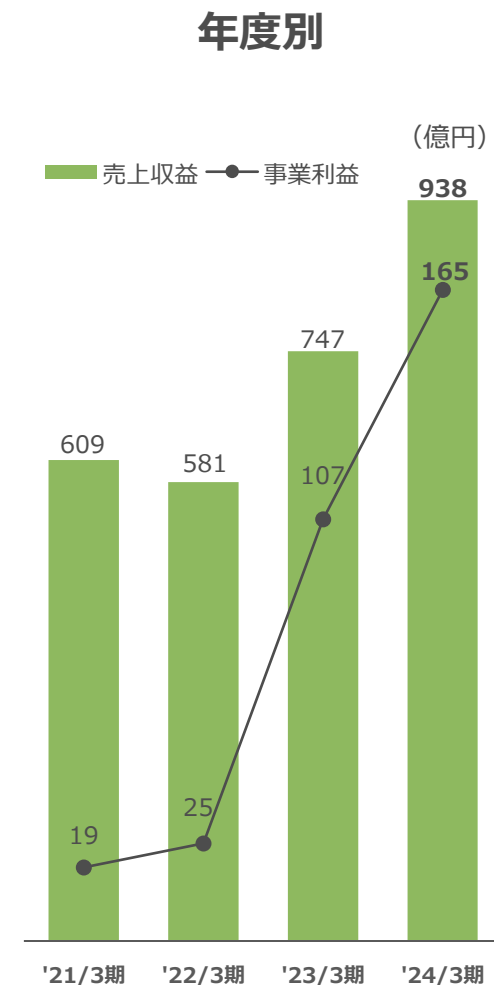
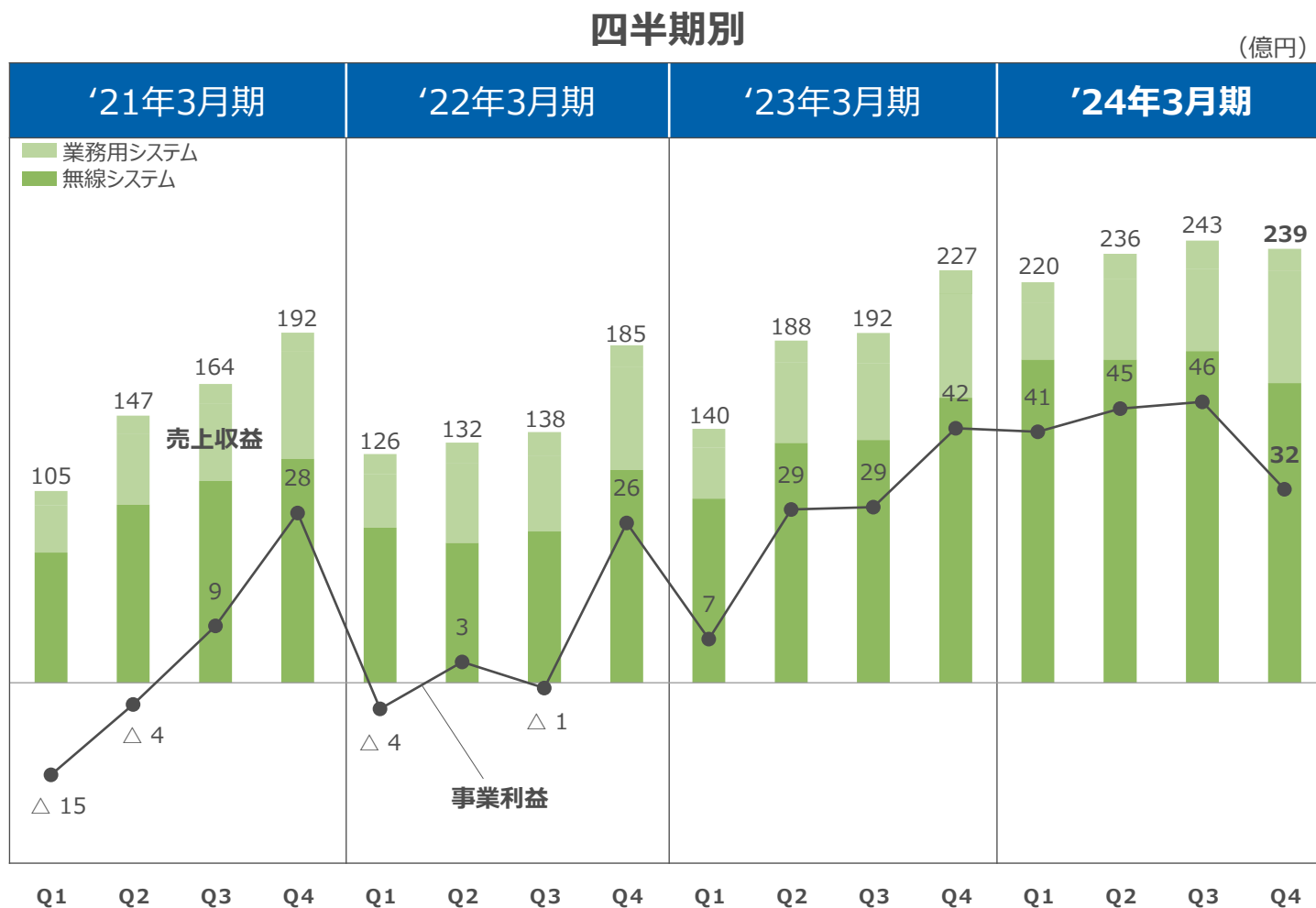
M&T 売上収益・事業利益推移

- 4Q（1-3月）は、テレマティクスサービスの販売減影響、為替ヘッジによるマイナス影響約16億円など受けるも、海外OEMが好調に推移したことなどから、分野全体では前期比で増収増益



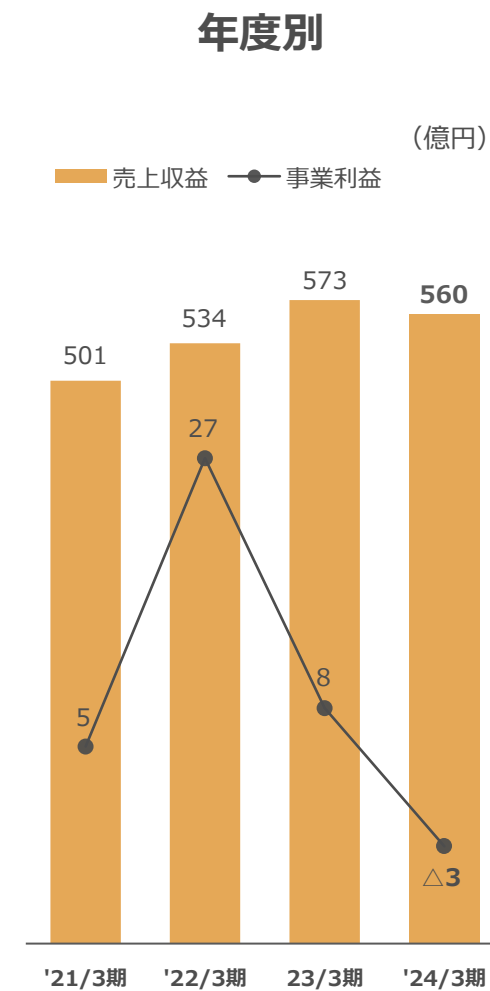
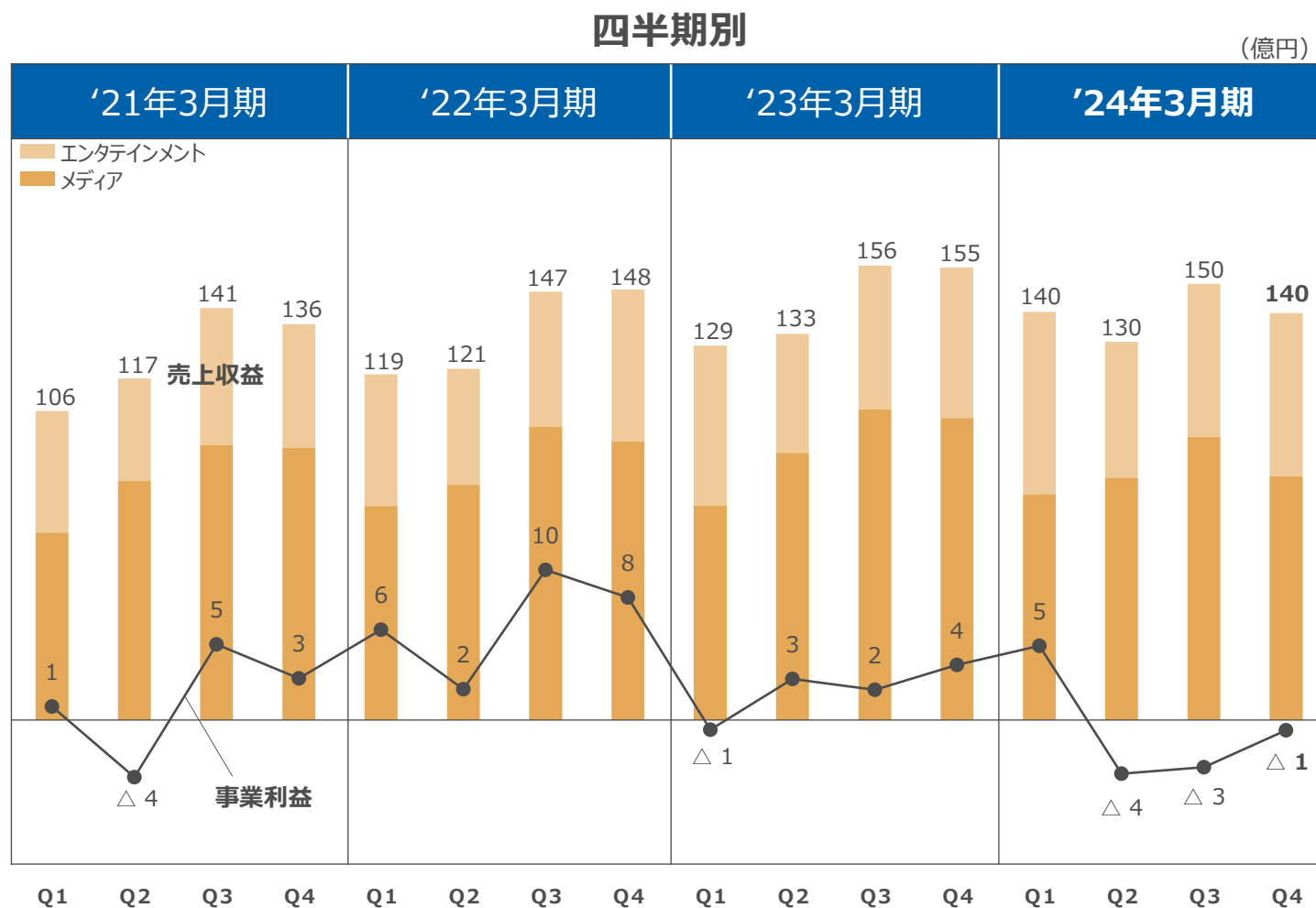
S&S 売上収益・事業利益推移

- 4Q（1-3月）は、無線システムで利益率の高い公共安全市場向け製品の出荷タイミングのズレが発生したことなどから、分野全体では前期比で増収減益



ES 売上収益・事業利益推移

- 4Q（1-3月）は、エンタテインメントの販売が堅調に推移したものの、メディアの販売が減少したことから、分野全体では前期比で減収減益

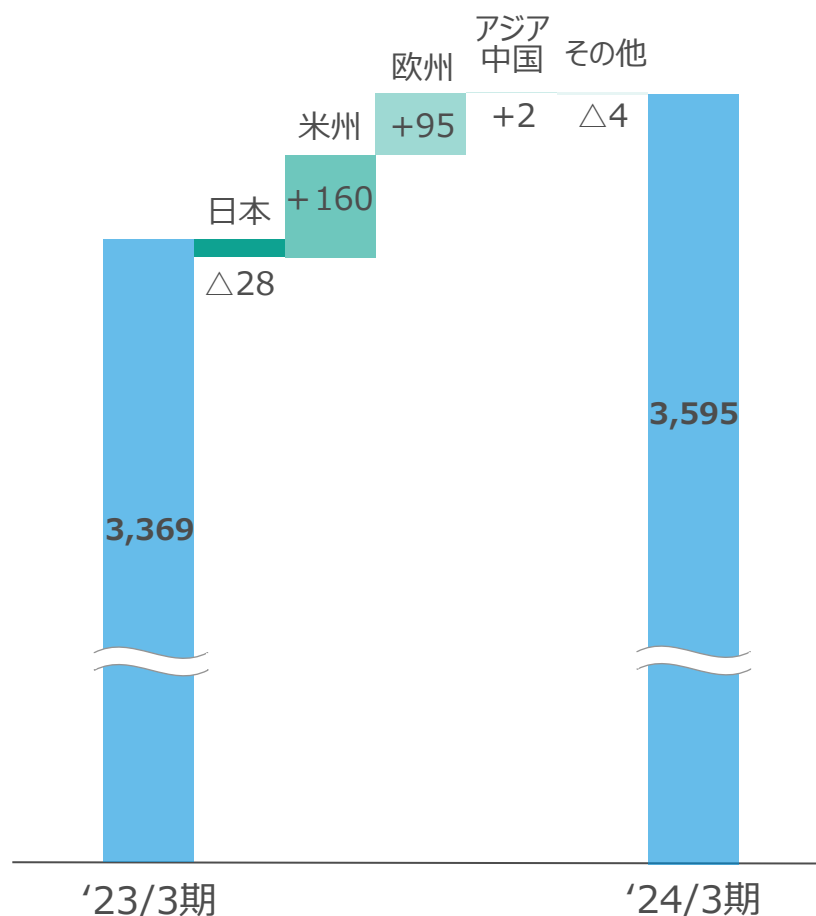


2024年3月期決算 地域別連結売上収益

■ 無線システムの販売好調、OEMの欧州子会社の販売堅調により、欧米で増収

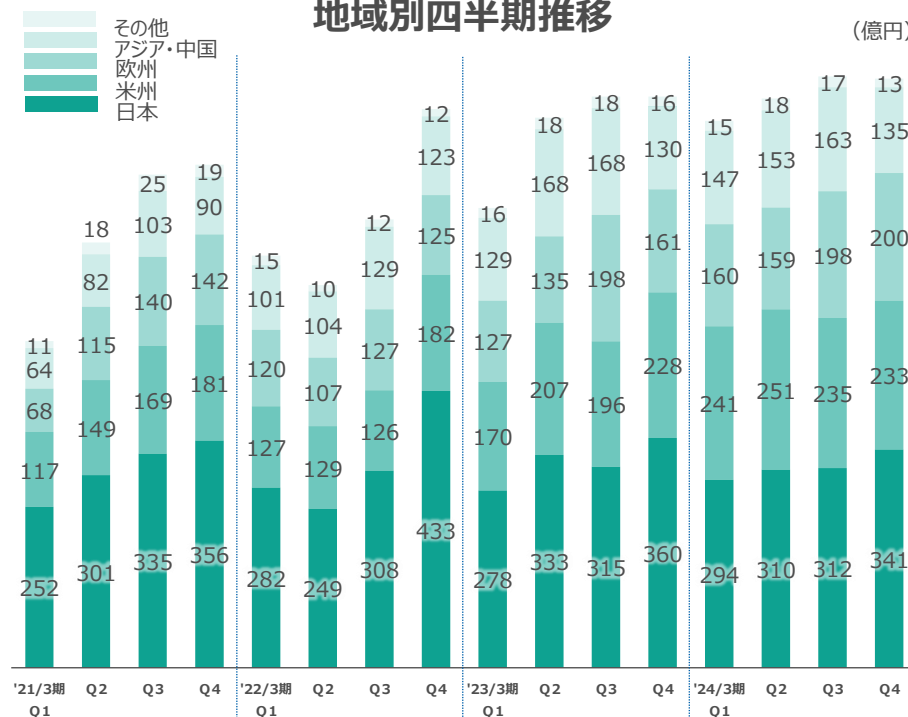
地域別増減

(億円)



地域別四半期推移

(億円)



地域別構成比推移

	'21/3期	'22/3期	'23/3期	'24/3期
日本	45%	45%	38%	35%
米州	22%	20%	24%	27%
欧州	17%	17%	18%	20%
アジア・中国	12%	16%	18%	17%
その他	3%	2%	2%	2%
合計	100%	100%	100%	100%

2024年3月期決算 連結損益サマリー

- 前期には固定資産譲渡益約97億円を計上したことなどから、今期の営業利益以下の段階損益については前期比で減益

(億円)

	'21/3期	'22/3期	'23/3期	'24/3期	前年比
事業利益	74.7	71.4	158.4	197.1	+ 38.7
その他の収益・費用、為替差損益等	△ 25.8	19.1	58.0	△ 14.8	△ 72.8
営業利益	48.9	90.5	216.3	182.3	△ 34.1
金融収支他	△ 3.6	△ 5.4	△ 4.7	0.2	+ 4.9
税引前利益	45.3	85.2	211.6	182.5	△ 29.2
法人所得税費用	18.3	21.5	43.2	43.5	+ 0.4
非支配持分	5.5	5.0	6.2	8.8	+ 2.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	21.5	58.7	162.3	130.2	△ 32.1

2024年3月期決算 財政状態サマリー

- 親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金とその他の資本の構成要素の増加により、前期末比で160億円増の1,148億円
- ネットデットは、前期末の63億円から69億円改善して△6億円となり、ネットデットからネットキャッシュに転換

(億円)

	'21/3期末	'22/3期末	'23/3期末	'24/3期末	前期末比
資産合計	2,643	2,808	2,994	3,168	+ 175
負債合計	1,958	1,968	1,956	1,956	△ 0
資本合計	685	840	1,037	1,212	+ 175
有利子負債	756	698	625	573	△ 52
ネットデット	159	211	63	△ 6	△ 69
ネットD/Eレシオ (倍)	0.25	0.27	0.06	△ 0.01	△ 0.07
親会社の所有者に帰属する持分	646	795	988	1,148	+ 160
親会社所有者帰属持分比率 (%)	24.5	28.3	33.0	36.2	+ 3.2pt

2024年3月期決算 キャッシュ・フローサマリー

- 営業キャッシュ・フローは、事業利益の増加に加えて在庫削減による運転資金の改善などにより、前期比で大きく収入が増加
- 投資キャッシュ・フローは、子会社売却による収入があったものの、固定資産売却による収入減や新ビル建設費用、開発投資などの支出増により前期比で支出が増加
- 財務キャッシュ・フローは、有利子負債の返済に加え株主還元の実施により支出が増加

(億円)

	'21/3期	'22/3期	'23/3期	'24/3期	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	358	71	266	332	+ 66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 118	△ 98	△ 73	△ 161	△ 87
フリー・キャッシュ・フロー <small>(営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー)</small>	240	△ 27	193	171	△ 22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 113	△ 140	△ 194	△ 53
合計	187	△ 140	52	△ 22	△ 75

1. 2024年3月期決算概況

2. 2025年3月期通期業績予想

3. 「VISION2025」の進捗について

<参考資料>

2025年3月期通期業績予想

- 2025年3月期は、利益創出ドライバーと位置付けた無線システムへの戦略的投資の更なる強化および為替ヘッジによるマイナス影響（約9億円）などから事業利益は対前年で微減も、中期経営計画「VISION2025」での想定は上回る見込み

(億円)

	'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期予想 ('24/4/26発表)	前年比	
売上収益	2,821	3,369	3,595	3,620	+ 25	+0.7%
事業利益	71	158	197	190	△ 7	-3.6%
営業利益	91	216	182	182	△ 0	-0.1%
税引前利益	85	212	182	180	△ 2	-1.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	59	162	130	125	△ 5	-4.0%
ROE (%)	8.1	18.2	12.2	10.5	△1.7pt	-

(円)

	'22/3期	'23/3期	'24/3期予定	'25/3期予想 ('24/4/26発表)
年間配当金	6	12 ^{※1}	12	13^{※2}

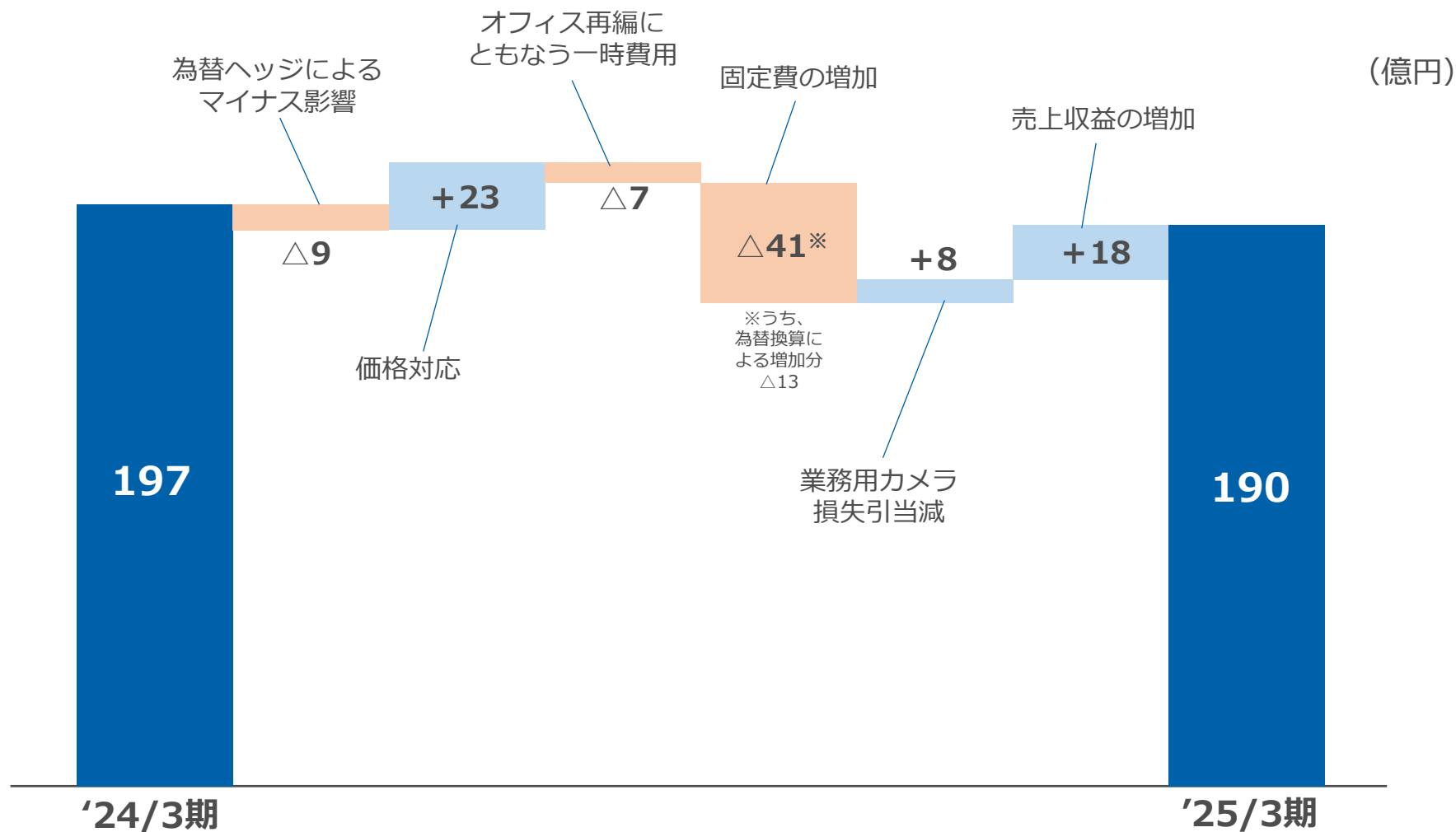
※1：うち、特別配当5円

※2：中間配当金 5円、期末配当金 8円

(円)

		'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期想定
損益為替レート	1米ドル	112	135	145	147
	1ユーロ	131	141	157	159

2025年3月期通期業績予想 事業利益の増減要因



2025年3月期通期業績予想 分野別の状況

- M&T : 為替ヘッジによるマイナス影響約16億円に加え、国内自動車メーカー向け用品の販売減少の継続懸念などから増収減益
- S&S : 無線システムの好調な販売を見込むが、人員増強・開発投資実施により、増収減益
- ES : 前期実施した構造改革効果の発現、エンタテインメントの堅調を見込むことから、増収増益

(億円)

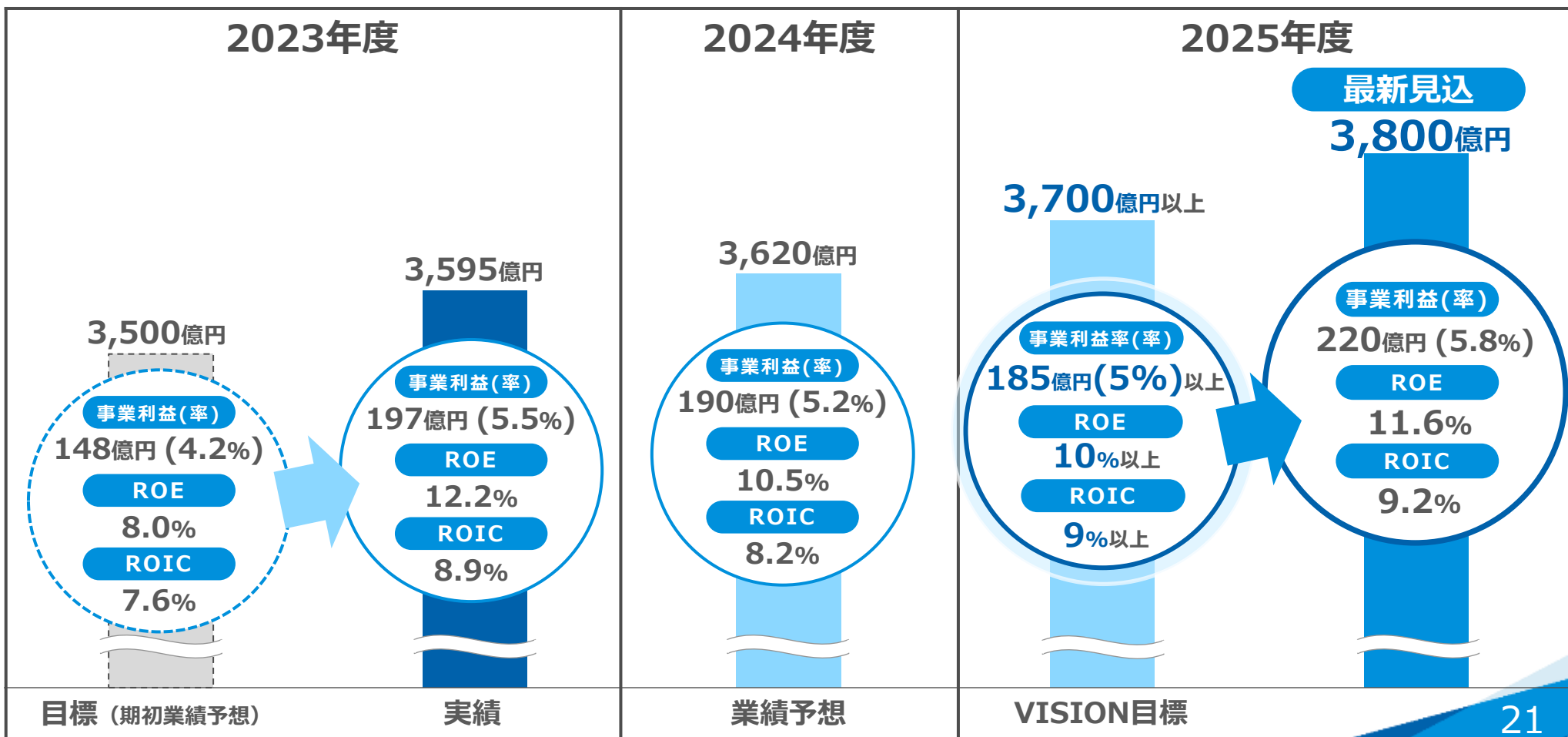
		'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 実績	'25/3期 予想 ('24/4/26発表)	前年比
M&T	売上収益	1,643	1,976	1,994	2,030	+ 36
	事業利益	22	44	39	33	△ 6
S&S	売上収益	581	747	938	960	+ 22
	事業利益	25	107	165	156	△ 9
ES	売上収益	534	573	560	570	+ 10
	事業利益	27	8	△ 3	10	+ 13
その他	売上収益	63	74	103	60	△ 43
	事業利益	△ 3	△ 0	△ 4	△ 9	△ 5
合計	売上収益	2,821	3,369	3,595	3,620	+ 25
	事業利益	71	158	197	190	△ 7

1. 2024年3月期決算概況
2. 2025年3月期通期業績予想
3. 「VISION2025」の進捗について

<参考資料>

中期事業成長イメージ

- 2023年度は「VISION2025」初年度としての目標を上回る実績
 - ✓ 事業利益、ROEについては最終年度目標も前倒しで達成
- 今後も資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応を継続し、「VISION2025」目標を上回る成長を目指す



(参考) 中期事業成長イメージ 分野別の見込み

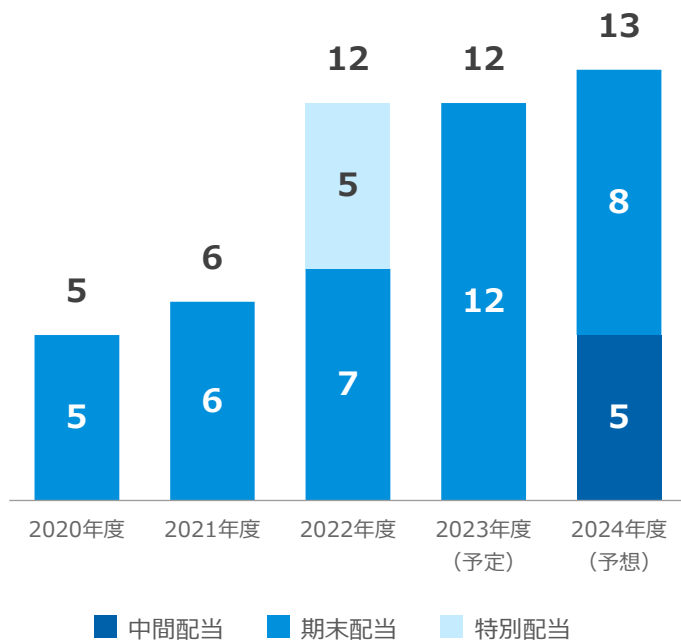
(億円)

		2023年度		2024年度	2025年度	
		目標 ('23/4/27予想)	実績	公表値 ('24/4/26予想)	目標 (VISION2025)	最新見込
M&T	売上収益	2,100	1,994	2,030	2,160	2,160
	事業利益	38	39	33	70	55
S&S	売上収益	760	938	960	830	1,000
	事業利益	107	165	156	120	170
ES	売上収益	580	560	570	650	580
	事業利益	10	△ 3	10	10	10
その他	売上収益	60	103	60	60	60
	事業利益	△ 7	△ 4	△ 9	△ 15	△ 15
合計	売上収益	3,500	3,595	3,620	3,700以上	3,800
	事業利益	148	197	190	185以上	220

株主還元方針について

還元方針	総還元性向30~40%を目安とする
配当	安定的な配当かつ継続的な増配を目指す
自己株式取得	財務健全性の維持、成長事業への投資を確保しつつ、総還元性向の範囲内で機動的に実施

一株当たり配当金推移 (円)



■ 株主還元実績 + 予定 : 約100億円

時期	内容	金額	原資
2023年5月	自己株式取得	約40億円	2022年度利益
2023年5月	2022年度配当	約20億円 (12円/株)	2022年度利益
2023年12月	自己株式取得	約25億円	2023年度利益
2024年5月予定	2023年度配当	約18億円 (12円/株)	2023年度利益

■ 今後の株主還元について

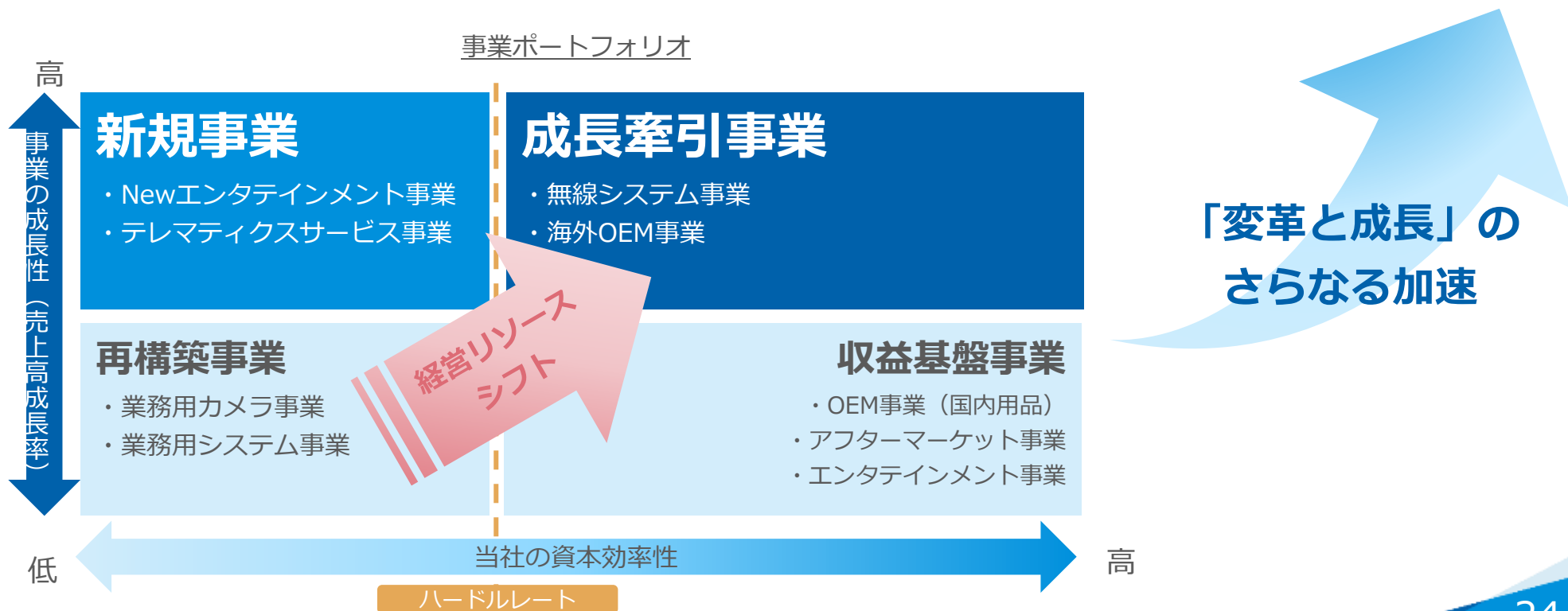
- ✓ 2024年度以降も上記方針に基づいた還元策を継続
- ✓ 2024年度は中間配当5円、期末配当8円の、合計13円の配当予想

「VISION2025」事業ポートフォリオ

■ 初年度の振り返り

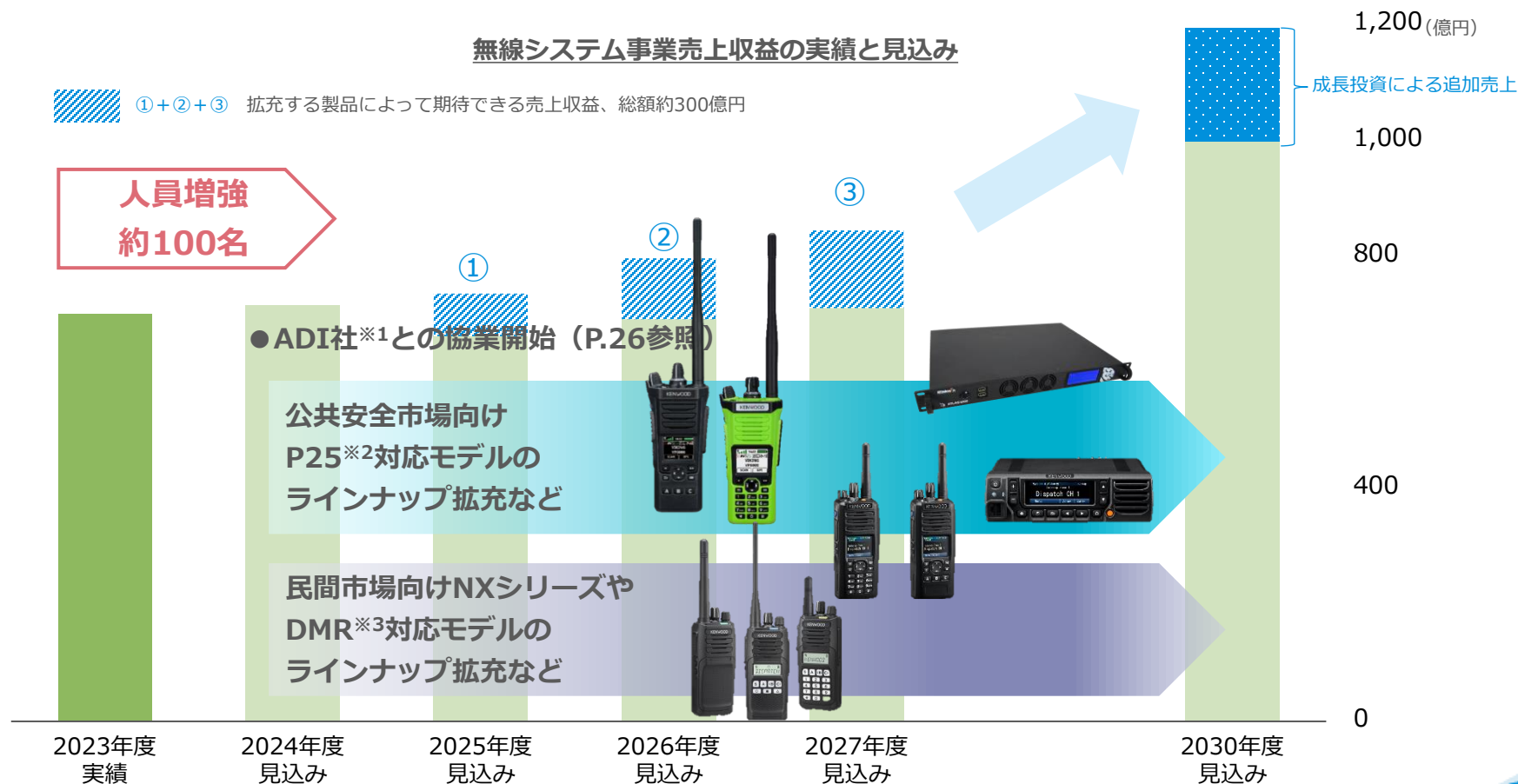
	内容
成長牽引事業	<ul style="list-style-type: none"> 海外OEM（車載用スピーカー/アンプ/アンテナ/ケーブル、APAC※でのディスプレイオーディオ、中国向け車載用レンズなど）が伸長 無線システムの収益拡大
再構築事業	<ul style="list-style-type: none"> 新医療の事業譲渡完了 業務用カメラの業容縮小と生産終息時期の早期化決定

※ Asia Pacificの略



S&S 無線システム事業 成長戦略①

- 2023～2024年度にかけて**100名規模の人員増強**
- 製品ラインナップを拡充し、2025年度からの3年間で**売上収益約300億円規模を創出**
- **基幹部品の安定確保と製品性能の向上による競争力強化** →P.26参照
- 創業事業のアマチュア無線は、魅力ある製品の開発・導入を計画的に進めていく



※1 : Analog Devices, Inc.

※2 : 米国の公共安全市場向けに開発されたデジタル無線規格

※3 : デジタル無線の国際規格「Digital Mobile Radio」の略

S&S 無線システム事業 成長戦略②

■ 基幹部品の安定確保と製品性能の向上による競争力強化

- ✓ 無線機の基幹部品SoC※の開発に関して、米国のAnalog Devices, Inc. (ADI社) と基本合意 (4/26広報発表)

ADI社の最新ソリューション「Nevis」

業界で高評価の低消費電力および
広いダイナミックレンジ

- ・ 低消費電力の実現
- ・ バッテリーの長寿命化
- ・ 妨害信号への耐性強化

競争力のある製品と
その安定供給の実現

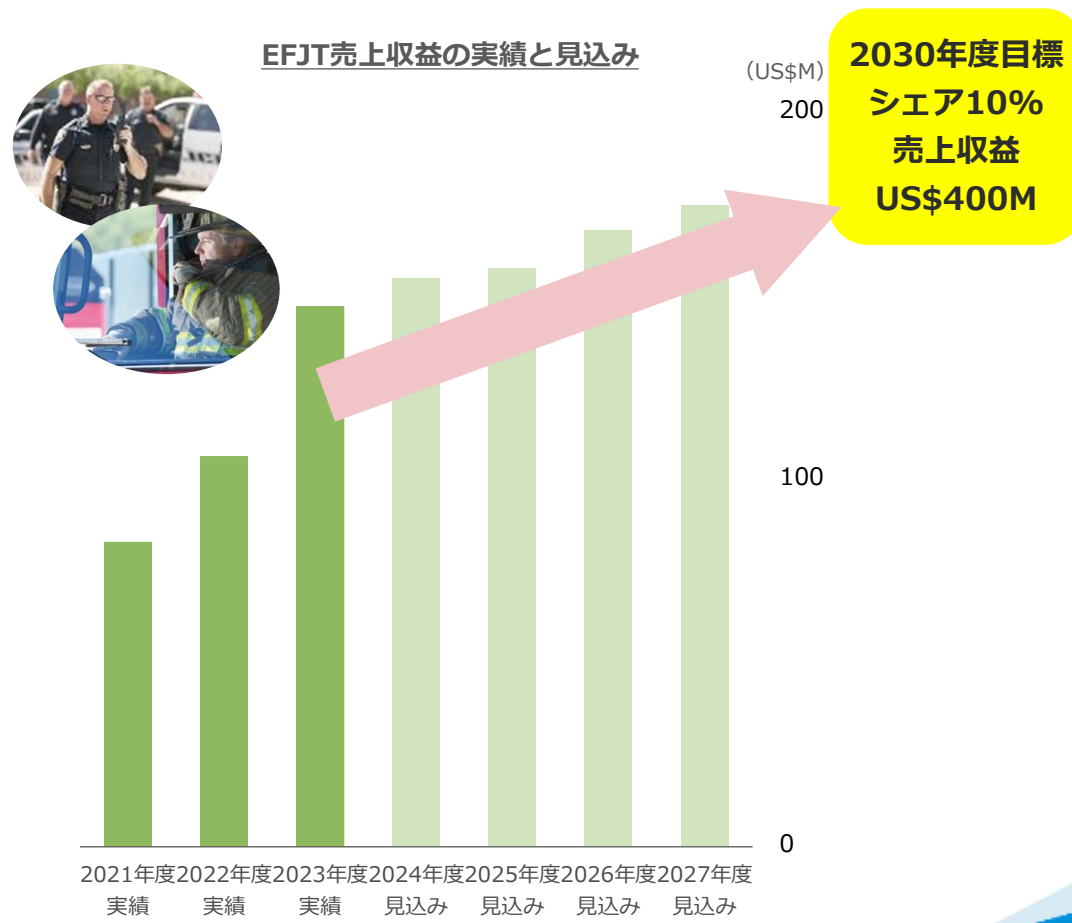
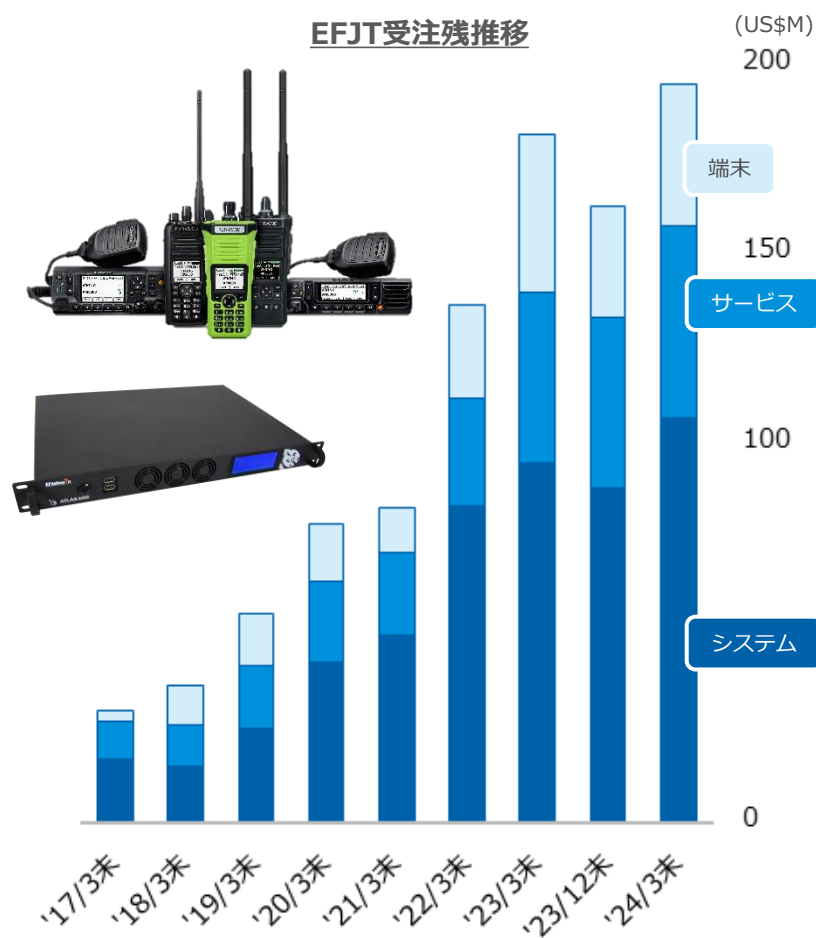


<左：ADI社 高速コンバータ製品事業部 マネージングディレクター Saeed Aghtar
右：当社 セーフティ&セキュリティ分野 無線システム事業部長 佐藤 勝也>

※System on a Chip:一枚の基板上に様々な半導体などの部品を取り付けたもの

S&S 無線システム事業 北米公共安全市場向け成長戦略

- '24/3末時点のEFJT※の受注残は順調に増加
 - ✓ 米国以外で2例目となるAPACでの大型案件を受注
- P25対応モデルをローエンドからハイエンドまでラインナップ拡充



※EF Johnson Technologies, Inc.

M&T OEM事業の成長戦略

■ 堅調な受注の継続的拡大

- ✓ 欧州および中国市場における車載用スピーカー/アンプ/アンテナ/ケーブルの受注拡大
- ✓ APACにおける開発効率を上げたディスプレイオーディオの受注拡大
 - 日系メーカー向け後継モデル（2025年納入開始予定）、新規大型案件（2026年納入開始予定）を受注
- ✓ 国内自動車メーカー向けナビゲーション、ディスプレイオーディオを受注（2025年納入開始予定）

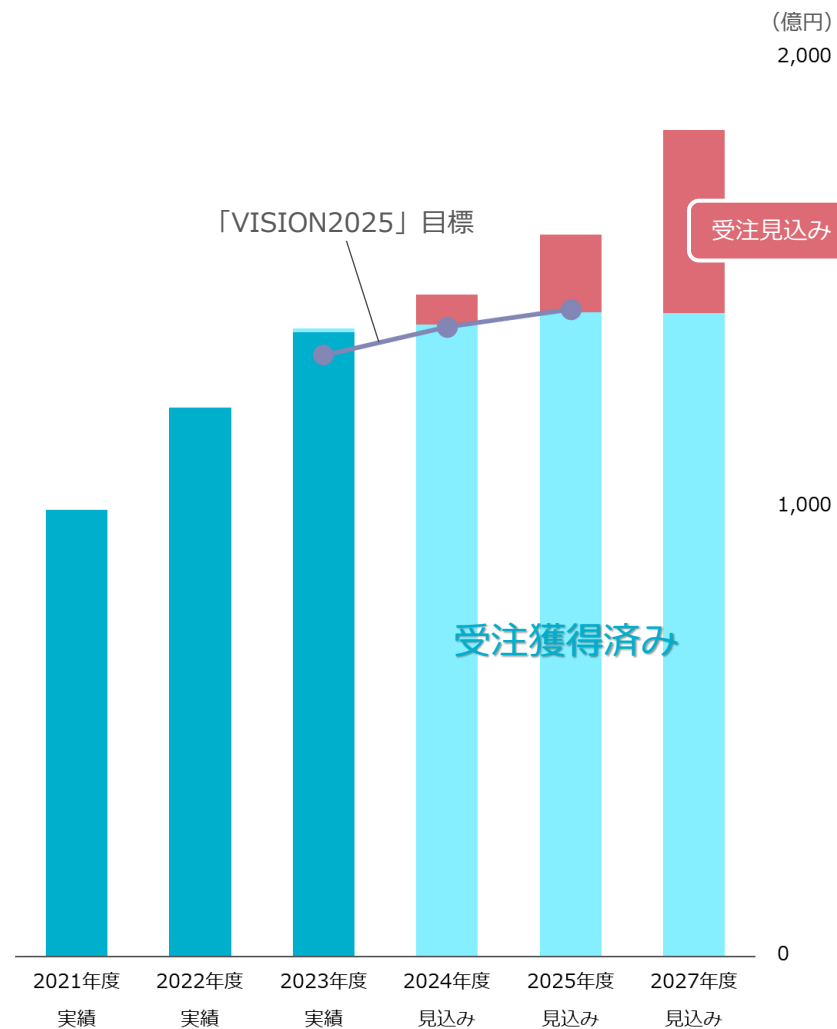


<車載用スピーカー/アンプ/アンテナ/ケーブル>



<ディスプレイオーディオ>

OEM事業の売上収益実績と見込み



ものづくり改革の進捗 生産・開発拠点の最適化

■ 総生産量・総工数に見合った生産拠点規模への統合は、予定どおり2023年度で完了

時期	内容	地政学 リスク 対応	為替 対策	SCM※1 最適化	セキュリ ティ 強化	国内 回帰	効率化/ 自動化	SDGs/ ESG
2022年2月	国内向け市販カーナビの生産移管（インドネシア→長野）	●	●	●	●	●	●	●
2022年3月	プロジェクターの生産移管（タイJKET※2→横須賀）	●	●	●	●	●	●	●
2022年3月	業務用カメラの生産移管（タイJKET→タイJKOT※3）とJKETの生産活動終了	●		●			●	●
2022年4月	SCM改革推進部を設置	●	●	●			●	
2022年10月	「Value Creation Square（VCS）」創設と八王子事業所の土地売却を発表						●	●
2022年11月	国内向け用品カーナビの生産移管（上海→長野）	●	●	●	●	●	●	●
2023年3月	M&T分野の開発機能移管と、シンガポールJKTS※4閉鎖					●	●	
2023年9月	中国（上海）生産拠点（SKE※5）の事業活動終了	●	●	●	●	●	●	●
2023年10月	「SCM改革推進部」と「調達・物流管理部」を統合して「SCM部」を新設	●	●	●			●	
2024年3月	中国（上海）生産拠点（SKE）の譲渡完了	●	●	●	●	●	●	●

【長期ビジョン】

「顧客満足」「高い品質」「大きな利益」「環境配慮型」を目指す
安定した「ものづくり」の実現

※1: Supply Chain Management

※2: JVCKENWOOD Electronics Thailand Co., Ltd.

※3: JVCKENWOOD Optical Electronics (Thailand) Co., Ltd.

※4: JVCKENWOOD Technologies Singapore Pte. Ltd.

※5: Shanghai 5Kenwood Electronics Co. Ltd.

新たな価値創造の拠点 「Value Creation Square」 創設

「Value Creation Square」イメージ

“コレカラ”を創造する会社 JVCケンウッド



※「Value Creation Square」
画像はイメージです

働く場所と環境が多様化 ハイブリッドワークを実現



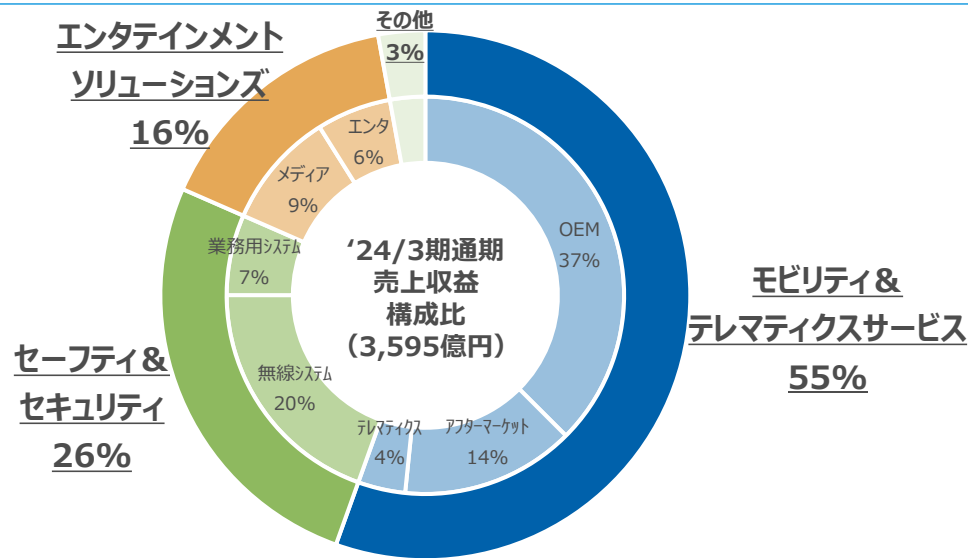
(本社横浜地区に新ビル建設中、2024年夏完成予定)

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。

<参考資料>

事業内容



セーフティ&セキュリティ分野 (S&S)

無線システム

業務用無線システム

小電カトランシーバー

業務用システム

セキュリティシステム

業務用放送システム

医用画像表示モニター

モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T)

OEM

カーナビゲーション

カーオーディオ

車載用アンプ/アンテナ/スピーカー

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

アフターマーケット

アルコール検知器

除菌消臭装置

ドライブレコーダー

通信型ドライブレコーダー

テレマティクスサービス

エンタテインメントソリューションズ分野 (ES)

メディア

ヘッドホン/イヤホン

オーディオシステム

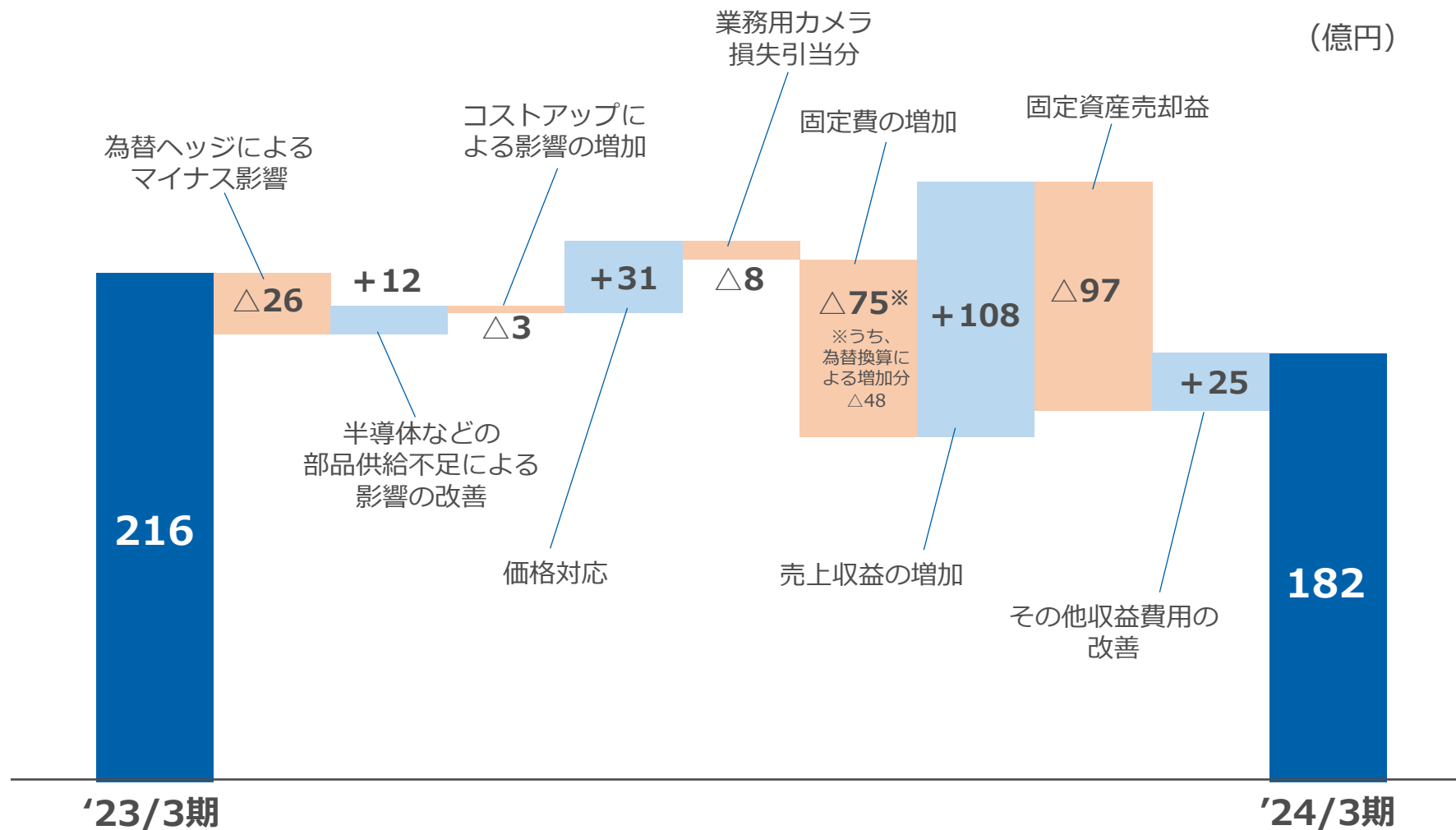
ポータブル電源

プロジェクター

エンタテインメント

音楽・映像コンテンツ

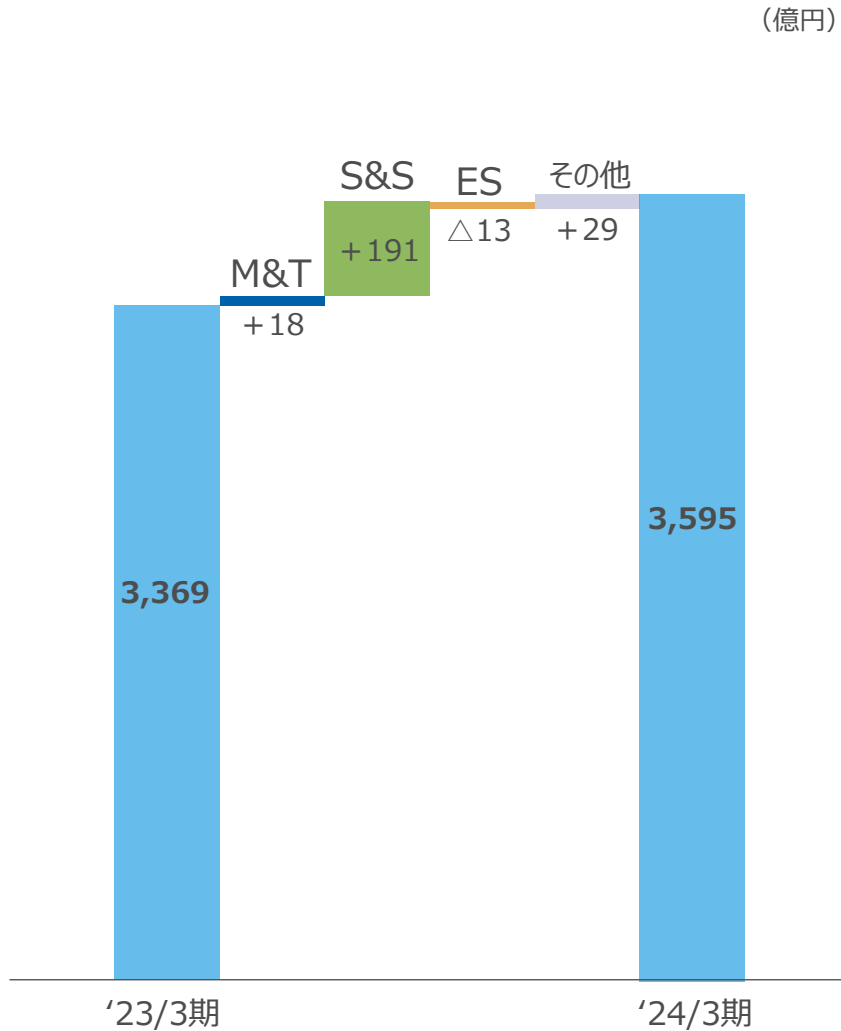
2024年3月期決算 営業利益の増減要因



2024年3月期決算 分野別連結売上収益・事業利益

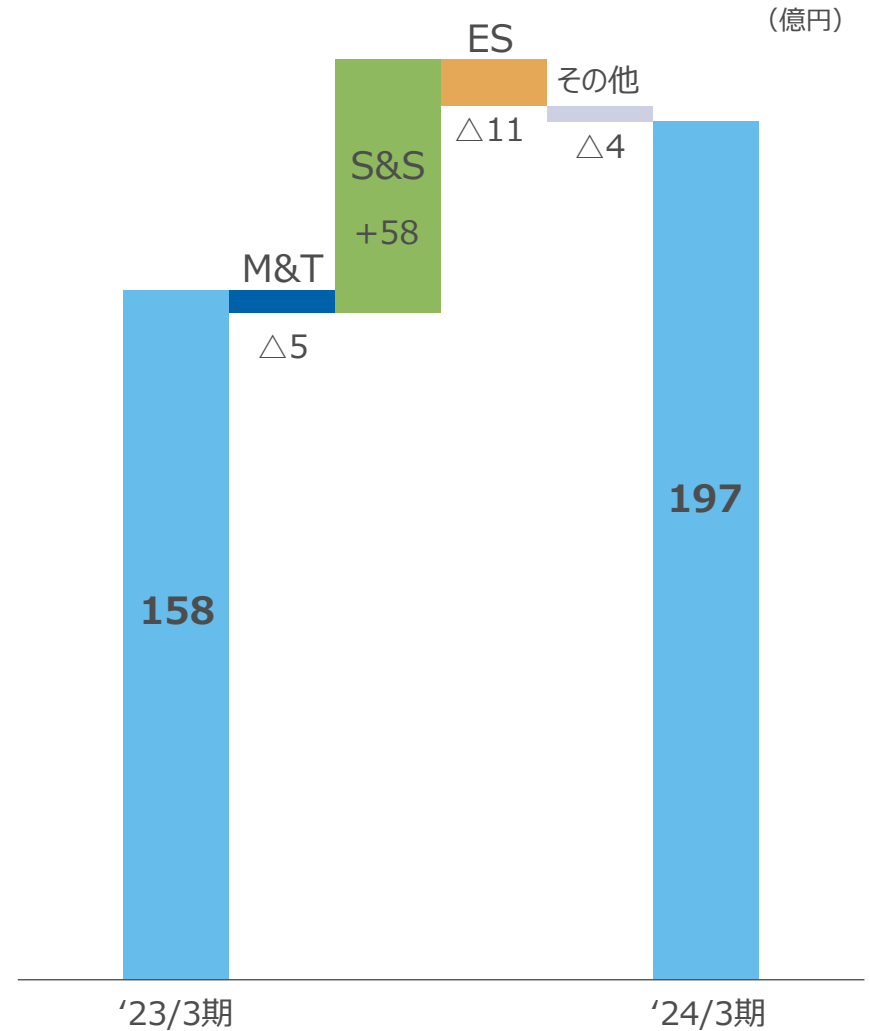
売上収益

(億円)



事業利益

(億円)



経営指標推移

設備投資・減価償却費・研究開発費推移

(億円)

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
設備投資※ (有形+無形)	39	33	81	43	195	44	76	55	48	223	54	53	45	45	197	46	58	84	76	264
有形固定資産	17	9	57	19	103	22	52	30	20	124	33	30	28	23	114	26	35	61	49	170
無形固定資産	21	24	23	24	93	22	24	26	28	100	21	23	17	21	83	20	23	23	28	94
減価償却費	47	49	49	49	193	46	43	41	41	171	42	44	44	46	176	44	46	46	46	182
研究開発費	40	40	38	40	157	40	39	38	41	159	40	41	43	51	174	45	45	51	54	194

※ 有価証券報告書には、有形固定資産のみを記載

地域別売上収益推移

(億円)

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
日本	252	301	335	356	1,244	282	249	308	433	1,272	278	333	315	360	1,286	294	310	312	341	1,258
米州	117	149	169	181	615	127	129	126	182	564	170	207	196	228	800	241	251	235	233	960
欧州	68	115	140	142	464	120	107	127	125	478	127	135	198	161	621	160	159	198	200	716
アジア+中国	64	82	103	90	339	101	104	129	123	457	129	168	168	130	595	147	153	163	135	597
その他	11	18	25	19	74	15	10	12	12	48	16	18	18	16	67	15	18	17	13	64
合計	511	666	772	787	2,736	645	599	702	875	2,821	720	861	894	894	3,369	856	891	926	922	3,595

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。